

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月11日

上場会社名 ダイニック
 コード番号 3551 URL <http://www.dynic.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細田 敏夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 卯野 明
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

上場取引所 東

TEL 03-5402-3132

百万円未満四捨五入

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	11,135	—	364	—	308	—	109	—
20年3月期第1四半期	10,998	0.5	456	△4.7	424	△5.3	277	0.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	2.57	—
20年3月期第1四半期	6.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	46,734	—	11,641	—	24.9	—	274.18	
20年3月期	45,251	—	11,829	—	26.1	—	278.44	

(参考)自己資本 21年3月期第1四半期 11,630百万円 20年3月期 11,812百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	—	—	6.00	6.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	23,000	1.5	900	△1.1	750	△7.9	380	△14.2	8.96
通期	46,500	0.7	1,900	4.8	1,600	6.4	800	83.5	18.86

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 0社(社名) 除外 0社(社名)(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は3ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は3ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	42,523,735株	20年3月期	42,523,735株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	105,544株	20年3月期	101,463株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	42,420,180株	20年3月期第1四半期	42,428,765株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期転結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成20年4月1日から平成20年6月30日）におけるわが国の経済は、米国経済の減速に加え原油価格や素材価格の上昇が続く、景気の減速感が強まってまいりました。とりわけ原油高に起因する原材料価格の更なる高騰は、当社にとって収益圧迫要因となっております。

販売価格への転嫁も厳しい情勢の中で、当社グループにおきましては、顧客ニーズに的確に対応するとともに引き続き収益改善への取り組みを強力に進めてまいりました。

その結果、売上高は11,135百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は364百万円（前年同期比20.2%減）、経常利益は308百万円（前年同期比27.4%減）、四半期純利益は109百万円（前年同期比60.6%減）となりました。

事業の種類別セグメントは、次のとおりであります。

当社グループは、出版・情報関連事業（主としてブッククロス、文具紙工品、プリンターリボン、食品包材等の製造販売）および生活・工業用途関連事業（主としてカーペット、壁装材、自動車用内装材、フィルター、接着芯地および医療用パップ剤用フィルム加工等の製造販売）において事業を営んでおります。なお、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高が含まれております。

出版・情報関連事業

出版・文具紙製品関連部門では布クロス、情報関連部門では主力の熱転写リボンや印刷用途フィルムが増えたものの紙クロスや表示用ラベル等がふるわず、当セグメントの売上高は5,646百万円（前年度比1.3%減）、営業利益は355百万円（前年度比1.7%減）となりました。

生活・工業用途関連事業

ファンシー商品や医療用パップ剤用フィルム加工等は引き続き堅調に推移したものの、インテリア・住宅関連部門や車輻・工業用途関連部門では原材料価格アップの影響が大きく、当セグメントの売上高は5,683百万円（前年度比3.6%増）、営業利益は183百万円（前年度比25.5%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の総資産は、前連結会計年度末と比較して1,483百万円増加し、46,734百万円となりました。これは主に流動資産の受取手形及び売掛金が1,262百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して1,672百万円増加し、35,094百万円となりました。これは主に短期借入金が2,202百万円増加し、長期借入金が392百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して189百万円減少し、11,641百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が325百万円増加したものの利益剰余金が221百万円、為替換算調整勘定が285百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

キャッシュ・フローについては以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益249百万円の計上に加え減価償却費257百万円、仕入債務の増加170百万円に対し、売上債権の増加1,426百万円、たな卸資産の増加342百万円、そして法人税等の支払256百万円などにより1,378百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出234百万円により、249百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増加2,590百万円に対し長期借入金の返済による支出660百万円、配当金の支払額255百万円などにより増加した資金1,675百万円となりました。

この結果当第1四半期における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて41百万円の減少の2,225百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成20年5月22日発表の数値に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

①税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,275,845	2,316,830
受取手形及び売掛金	10,785,965	9,523,471
商品及び製品	3,998,941	3,970,174
仕掛品	979,215	950,765
原材料及び貯蔵品	2,208,024	2,099,112
繰延税金資産	487,715	485,338
その他	474,594	464,600
貸倒引当金	△127,844	△138,851
流動資産合計	21,082,455	19,671,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,112,700	14,160,445
減価償却累計額	△9,592,243	△9,545,989
建物及び構築物（純額）	4,520,457	4,614,456
機械装置及び運搬具	22,281,112	22,510,008
減価償却累計額	△19,926,965	△20,018,618
機械装置及び運搬具（純額）	2,354,147	2,491,390
工具、器具及び備品	2,618,416	2,616,087
減価償却累計額	△2,335,450	△2,325,700
工具、器具及び備品（純額）	282,966	290,387
土地	11,779,418	11,799,986
建設仮勘定	170,846	82,855
有形固定資産合計	19,107,834	19,279,074
無形固定資産		
のれん	13,143	14,974
その他	66,574	70,636
無形固定資産合計	79,717	85,610
投資その他の資産		
投資有価証券	5,504,743	5,220,158
長期貸付金	55,378	57,877
繰延税金資産	183,127	213,043
その他	879,371	881,139
貸倒引当金	△158,329	△157,438
投資その他の資産合計	6,464,290	6,214,779
固定資産合計	25,651,841	25,579,463
資産合計	46,734,296	45,250,902

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,134,164	9,103,784
短期借入金	11,529,456	9,327,792
1年内償還予定の社債	125,000	125,000
未払法人税等	196,130	340,628
貸借取引担保金	2,784,272	2,784,272
賞与引当金	81,583	2,253
役員賞与引当金	21,616	60,550
設備関係支払手形	115,731	146,362
その他	1,432,510	1,487,913
流動負債合計	25,420,462	23,378,554
固定負債		
長期借入金	3,345,238	3,737,406
繰延税金負債	61,130	62,433
再評価に係る繰延税金負債	1,716,609	1,716,609
退職給付引当金	4,018,223	3,957,527
役員退職慰労引当金	153,099	184,266
環境対策引当金	78,600	78,600
その他	300,154	306,207
固定負債合計	9,673,053	10,043,048
負債合計	35,093,515	33,421,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,795,651	5,795,651
資本剰余金	944,696	944,696
利益剰余金	2,895,643	3,116,456
自己株式	△25,162	△24,241
株主資本合計	9,610,828	9,832,562
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	283,524	△41,144
土地再評価差額金	2,386,364	2,386,364
為替換算調整勘定	△650,593	△365,759
評価・換算差額等合計	2,019,295	1,979,461
少数株主持分	10,658	17,277
純資産合計	11,640,781	11,829,300
負債純資産合計	46,734,296	45,250,902

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年6月30日)

売上高	11,134,668
売上原価	8,859,277
売上総利益	2,275,391
販売費及び一般管理費	1,911,105
営業利益	364,286
営業外収益	
受取利息	3,913
受取配当金	41,288
受取賃貸料	48,438
雑収入	40,040
営業外収益合計	133,679
営業外費用	
支払利息	72,037
為替差損	48,020
雑損失	69,559
営業外費用合計	189,616
経常利益	308,349
特別損失	
固定資産処分損	316
投資有価証券評価損	59,019
特別損失合計	59,335
税金等調整前四半期純利益	249,014
法人税等	140,152
少数株主損失(△)	△331
四半期純利益	109,193

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間

(自 平成20年4月1日

至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	249,014
減価償却費	256,973
その他の償却額	757
のれん償却額	1,831
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△38,934
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,757
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△31,167
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△596
受取利息及び受取配当金	△45,201
支払利息	72,037
為替差損益 (△は益)	1,950
持分法による投資損益 (△は益)	△9,154
投資有価証券評価損益 (△は益)	59,019
有形固定資産処分損益 (△は益)	316
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,426,084
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△342,297
仕入債務の増減額 (△は減少)	170,282
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△13,183
その他	△8,500
小計	△1,109,694
利息及び配当金の受取額	45,367
利息の支払額	△57,657
法人税等の支払額	△256,361
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,378,345
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△234,464
有形固定資産の売却による収入	121
投資有価証券の取得による支出	△4,527
投資有価証券の売却による収入	98
貸付金の回収による収入	2,499
その他	△12,531
投資活動によるキャッシュ・フロー	△248,804
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,590,378
長期借入れによる収入	—
長期借入金の返済による支出	△659,513
自己株式の取得による支出	△921
配当金の支払額	△254,534
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,675,410
現金及び現金同等物に係る換算差額	△89,246
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△40,985
現金及び現金同等物の期首残高	2,266,330
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,225,345

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	出版・情報 関連 (千円)	生活・ 工業用途関連 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,584,556	5,550,112	11,134,668	—	11,134,668
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	61,407	132,961	194,368	(194,368)	—
計	5,645,963	5,683,073	11,329,036	(194,368)	11,134,668
営業利益	355,160	182,798	537,958	(173,672)	364,286

(注) 1 事業区分の方法

事業区分の方法は、市場別に「出版・情報関連」、「生活・工業用途関連」事業としてセグメントしております。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	売上区分	主要取扱商品
出版・情報関連	出版・文具紙製品	書籍装幀用クロス、印刷・ビジネス用各種クロス、文具紙工品、パッケージ用化粧クロス
	情報関連	銀行通帳用クロス、コンピューターリボン、フィルムコーティング品、名刺プリンター、表示ラベル用素材、磁気関連製品、有機EL用水分除去シート
	その他	容器密封用アルミ箔、複合フィルム
生活・工業用途関連	インテリア・住宅関連	カーペット、壁装材、天井材、ブラインド
	車両工業用途	自動車内装用不織布・カーペット、産業用ターポリン、テント地、雨衣、産業用不織布、フィルター
	衣料用途	接着芯地、不織布
	ファンシー商品他	キャラクター商品、縫製加工・成型加工・ウェルダ加工等の各種加工品、耐久性折目加工材、ノウハウの販売、パップ剤用フィルム加工、食品鮮度保持剤
	運送、製造・加工他	商品等運送業、製品製造・加工

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	日本 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,264,666	1,870,002	11,134,668	—	11,134,668
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	555,462	410,312	965,774	(965,774)	—
計	9,820,128	2,280,314	12,100,442	(965,774)	11,134,668
営業利益	491,969	47,071	539,040	(174,754)	364,286

- (注) 1 本邦以外の国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
ただし、各区分に属する売上高及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計の10%未満のため、「その他の地域」として一括して記載しております。
- 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
- | | |
|--------|------------------------|
| その他の地域 | 北米……………アメリカ |
| | ヨーロッパ……………イギリス |
| | 中国……………中国 |
| | 東南アジア……………香港・台湾・シンガポール |

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	東南アジア	その他地域	計
海外売上高(千円)	630,867	1,418,397	2,049,264
連結売上高(千円)	—	—	11,134,668
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	5.7	12.7	18.4

- (注) 1 本邦以外の国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
- 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
- | |
|------------------------|
| 東南アジア……………香港・台湾・シンガポール |
| その他地域……………アメリカ・イギリス・中国 |
- 3 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
- 該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期にかかる財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科 目	前四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	10,998,427
II 売上原価	8,654,570
売上総利益	2,343,857
III 販売費及び一般管理費	1,887,365
営業利益	456,492
IV 営業外収益	(122,736)
1. 受取利息	7,361
2. 受取配当金	36,446
3. その他	78,929
V 営業外費用	(155,375)
1. 支払利息	80,690
3. その他	74,685
経常利益	423,853
VI 特別利益	(60,398)
1. 投資有価証券売却益	32,340
2. 固定資産売却益	916
3. その他	27,142
VII 特別損失	(14,842)
1. 固定資産処分損	9,376
2. 固定資産売却損	166
3. その他	5,300
税金等調整前 四半期(当期)純利益	469,409
税金費用	192,956
少数株主利益 (△損失)	△660
四半期(当期)純利益	277,113